



## 夜間も安心できるように 個室のベッドサイドに水洗トイレを用意。



7室の個室のうち、2室に設けられたベッドサイド水洗トイレ。使用時にはパーティションで目隠しを行い、利用者のプライバシーを保護できる。床は畳調で滑らずクッション性があり、転倒対策にもなっている。

介護と医療の連携によって、北九州市初の「複合型サービス」を行っている志井ヶ丘 楽々庵。

今までの小規模多機能型居宅介護のサービスに、さらに訪問看護の機能が加わり、

利用者やご家族のニーズに合わせて、医療処置を含めたさまざまなサービスを提供しています。

通いを中心に、随時訪問や宿泊を組み合わせて、

在宅での生活の継続を支援できるように、24時間365日の地域密着型サービスで

利用者とスタッフが「互いに快ち良い」と思える「快互関係」を築いています。



パーティション使用時

### 通い、訪問、泊まり、訪問看護の 組み合わせによって在宅介護をサポート。

志井ヶ丘 楽々庵が行っている「複合型サービス」は、デイサービス(通い)、ヘルパー(訪問)、ショートステイ(泊まり)、訪問看護という4つのサービスを、ケアプランに応じて臨機応変に利用できるというシステム。月ごとの包括料金であり、どのサービスを利用しても顔なじみのスタッフが対応するので、利用者にとってはたいへん安心です。これらのサービスはすべて、在宅での介護をサポートする大きな役割を果たします。

大きな特徴の一つは、個室のベッドサイドに設けられた移動可能な水洗トイレ。トイレに行きたいけれど行けないという人の想いをかなえ、おむつに頼らず、その人を大切にする楽々庵ならではの取り組みです。自分で排泄することによって長く健康に暮らしてもらえるような環境を設えています。



周囲の自然と調和した外観。格子をアクセントにしたデザインが、訪れる人を優しく迎え入れる。



天気のよい日にはベランダで心地よい時間を過ごせる。ベランダ手すりに設置された「レイズドベッド」は、車いすでも作業のできる花壇。身近に自然に触れることができる、さりげない仕掛けである。施設のすぐ近くには志井川が流れ、春には桜並木、夏にはホタルの舞いを楽しむことができる。

#### 【志井ヶ丘 楽々庵】

- 竣工年月／2013年3月
- 所在地／福岡県北九州市小倉南区志井6-2-5
- 施主／株式会社楽々サービス
- 設計／アトリエPAO 一級建築士事務所
- 施工／株式会社佐伯建設
- 登録定員／25名まで

## 夜間に何度も歩いて行くトイレではなく、 ポータブルでもない、水洗トイレが必要。

「1晩でトイレに20回行かれる方もいるんです。夜、安心してお休みしていただくためにも、ベッドサイドのトイレは重要です。しかもポータブルではない、なじみのある水洗トイレであることが大切ですね。よく泊まられる車いすの方は、それまでおむつでしたが、ベッドサイドトイレを使ううちに動けるようになり、介助なしで排泄できるようになりました(代表取締役社長・岩井茂さん)」。ベッドサイド水洗トイレの安心感によって、自然にトイレの回数も減ったとのことです。

## 感染を防止するために 工夫された動線計画。

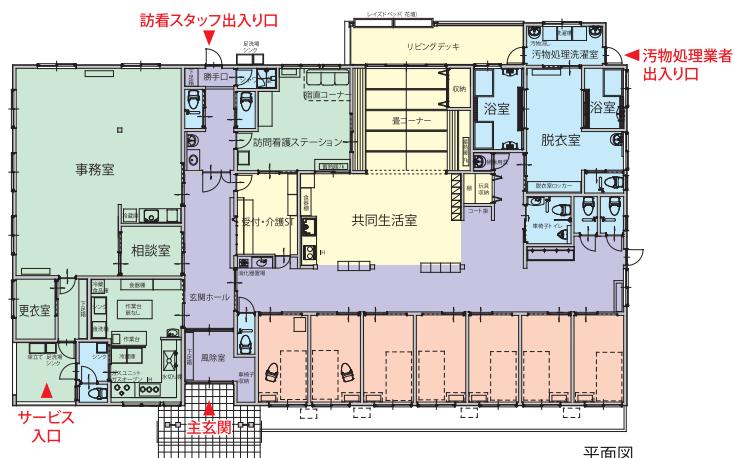
訪問看護では外部との接触も多いため、感染防止に配慮した動線計画を導入。それぞれの出入口付近に設けられた手洗いやシャワールームが、感染を防ぐためには大切です。スタッフが無理なく自己管理でき、利用者とスタッフとの交差感染が起こらないシステムになっています。



温かみのある、おしゃれなデザインの共用トイレは、左右勝手にも配慮している。空間が広すぎないほうが、介護者が壁に寄りかかって介護しやすいというメリットもある。



小便器も設けられた多機能トイレ。車いすの動きやすい広さを確保している。



平面図



車いすでも使いやすく、使う人の状態に合わせて利用できるように、さまざまなタイプの水栓が設けられた洗面スペース。



浴室は2室。リフト浴の浴室もあり、誰でもゆったりと入浴を楽しめる。自分で入浴できるよう多くの手すりが設けられている。



訪問看護ステーションの手洗いスペース。利用者とスタッフの動線を完全に分けることによって、感染対策に配慮している。

### eVoice 代表者の方からの声



#### 体調や精神状態がよく分かります。

株式会社樂々サービス  
代表取締役社長  
理学療法士  
**岩井茂さん**

ここでは、スタッフが時間に追われず、利用者の方とゆっくり向き合うことができます。4つのサービスを同じスタッフが行うことで、体調の変化や問題点などの情報を迅速に共有でき、一人ひとりとより密接に寄り添うことができます。ご自宅で1日でも長く暮らしていただけるよう、生活リハビリにも取り組んでいます。

### eVoice 介護支援専門員さんからの声



#### トイレは単なる機能空間ではありません。

株式会社樂々サービス  
代表取締役副社長  
**岩井智子さん**

お風呂に入っている時に、みんなの前で言えなかったことを話せたり、排泄のお手伝いをさせていただくには人と人との信頼関係が必要だったりします。ですから、介護の世界でお風呂やトイレは、単なる日常生活のための空間ではなく、それ以上のものがあると感じます。トイレは白い空間であると決める必要もないと思いますね。

### eVoice 設計担当の方からの声



#### リハビリも兼ねている洗面台です。

アトリエPAO  
一級建築士事務所  
代表  
**木村洋子さん**

見かけのカッコよさに捉われずに、自分で手や顔を洗う、歯を磨くといった日常のことがしやすいような洗面台も用意しました。水栓も自動水栓だけではなく、普通に回すタイプなど多くの種類を設けたのは、リハビリも兼ねて考えたことで、そのために学校にあるような長い洗面台にしたんです。水はねしないような工夫も施しました。